

令和6年度

緑の活動だより



山梨県・(公財)山梨県緑化推進機構・緑の少年隊山梨県連盟

■緑の活動だよりについて

「緑の活動だより」は、県内の緑の少年隊及び緑化活動に取り組む青少年団体の日々の優れた活動内容を広く紹介することで、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動の充実を図るとともに、活動への理解を深めることを目的として作成しました。

令和6年度は、中北、峡南、富士・東部の3地区において、優れた緑化活動を実施している団体を1つ選定し、その活動状況を紹介します。

緑の少年隊及び緑化活動を行う青少年団体の指導者をはじめ関係者の皆さまに、日頃の活動の参考にしていただければ幸いです。

また、緑化活動を進めるうえで、「活動できるフィールド(森林)を探している。」、「森林体験活動を企画・運営できる専門家を紹介してほしい。」などの要望がありましたら、緑の少年隊山梨県連盟事務局へご相談いただけるようお願いいたします。

■緑の活動の表彰について

山梨県、(公財)山梨県緑化推進機構及び緑の少年隊山梨県連盟では、毎年度、県内において優れた緑化活動を実施している緑の少年隊及び青少年団体を表彰しています。

今回、3地区から選定された団体について審査したところ、次のとおり表彰することとなりました。

【優秀賞】(公益財団法人山梨県緑化推進機構会長賞)

都留文科大学附属小学校 緑の少年少女隊

【優良賞】(緑の少年隊山梨県連盟会長賞)

北東中 緑の少年少女隊

南部中学校 緑の少年隊

なお、優秀賞を受賞した「都留文科大学附属小学校 緑の少年少女隊」については、(公社)国土緑化推進機構が表彰する令和7年度みどりの奨励賞に推薦します。

令和6年度に推薦した「神金小 緑の少年少女隊」は、みどりの奨励賞(優良賞)を受賞しました。

※「みどりの奨励賞」

(公社)国土緑化推進機構は、次の世代を担う青少年の緑化活動の中核的な活動を行っている優れた緑の少年団を「みどりの奨励賞」として表彰しています。このうち、国土緑化推進機構理事長賞の受賞団体(5団体程度)は、全国育樹祭の併催行事である全国緑の少年団活動発表大会に参加し、発表を行うこととなります。

■目次

◇各隊の活動紹介 （緑の活動調書）

・【中北地区】

北東中 緑の少年少女隊 P 3

・【峡南地区】

南部中学校 緑の少年隊 P 7

・【富士・東部地区】

都留文科大学附属小学校 緑の少年少女隊 . . P 12





北東中 緑の少年少女隊 【中北地区】

■ 隊の概要

○所在地：甲府市立北東中学校 甲府市大手二丁目 4－18

○結成日：平成5年5月1日

○隊員数：236名

○主な活動場所：学校内、学校林(甲府市岩窪町内)



「標準地図（国土地理院）」を加工して作成



令和6年度 緑の活動調書

(都道府県名 : 山梨県)

1	フリガナ 団の名称	ホクトウチュウ ミドリ ショウネン ショウジョタイ 北東中緑の少年少女隊														
2	所在地	〒400-0015 TEL 055-253-1388 山梨県甲府市大手2丁目4-18														
3	フリガナ 代表者名	シハラ ミツマサ 石原 三正	4 結成年月日	H5年 5月 1日												
5	団員数	男132名、女104名	6 年 令	13才～ 15才 平均 14才												
7	組織の単位	学校単位	8 育成会	有： 人 無												
9	最近1年間の会費等	(a) 団員1人当り年会費 0円 (b) 助成金等 120,000円														
10	団の活動的 目	・北東中学校生徒・保護者・職員及び地域の方々の参加による2.53haの一部の学校林の整備とその活動を通して、地域の自然を理解することを目的とする。 ①春の学校林活動(5月、6月) 自然林観察及び整備・草刈 ②秋の学校林活動(10月) 講師を招いての学習会、自然林活動及び整備(草刈・捕植) ・各機関で行う緑化推進関係のイベント等への参加、普及啓発活動の実施及び学校内の緑化整備、清掃等。														
11	団の活動状況(最近1年間の活動)	(1) 学習活動 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>開 催 日</th> <th>参 加 者 数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学校林活動</td> <td>5月～10月</td> <td>90名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②緑化活動</td> <td>5月～11月</td> <td>50名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ①学校林活動 ・春の学校林活動その1(5月) 自然と触れ合う機会の少ない生徒たちが学校林に触れる第一段階として、学校林近くに位置する「武田の杜 樹木見本園」を訪問し、森の中を様々に歩きながら樹木の観察を行うことで、自然に関する学習を行った。    ・春の学校林活動その2(6月) 事前学習を経て、学校林を実際に初めて訪れ、各班ごとのグループに分かれて場所を決め、自然の素晴らしさ・厳しさ等を実感しながら、冬から春にかけてかなりの量が生い茂った下草類を刈る作業を行った。   			種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考	①学校林活動	5月～10月	90名		②緑化活動	5月～11月	50名	
種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考													
①学校林活動	5月～10月	90名														
②緑化活動	5月～11月	50名														

11 団の活動状況（最近1年間の活動）

・秋の学校林活動（10月）

講師として造園業に携わる方々をお迎えし、「木を植える→育てる→伐採する→再び植える」という循環の理念を学習した上で、講師の方々の植え付け作業を見学し、参考にしながら、各班ごとにドウダンツツジの苗木を一つずつ植える作業を行った。



②緑化活動

・春の植苗活動（6月）

美化園芸委員会生徒が中心となり、校内各所の花壇・プランターに下記の花苗を植えた。また、花苗を安定して育て、美しく咲かせるとともに、継続して咲き続けられる状態をつくるために、夏季休業中を含む日々の水やり、花摘み等を責任を持って行った。校内各所が季節の花々で囲まれることによって、学園祭等で来校した方々の癒やしになるとともに、自然を身近に感じ、愛する生徒の心情が高まった。

ジニアプロフュージョン 21	テイカカズラ 3	エキナセア 9
日日草 12	サルビア 3	マリーゴールド 9
ペチュニア 3	タピアン 3	ルドベキア 5



・秋の植苗活動（10月）

美化園芸委員会生徒が中心となり、校内各所の花壇・プランターに下記の花苗を植えた。また、花苗を安定して育て、美しく咲かせるとともに、継続して咲き続けられる状態をつくるために、春の活動の反省を踏まえながら、季節の違いも考慮しながら日々の水やりの量を調節し、花摘み等も当番活動の中で責任を持って行った。校内各所が秋～冬の花々で囲まれることによって、学校開放日の授業参観・合唱祭・オープンスクール等で来校した方々の癒やしになるとともに、自然を身近に感じ、愛する生徒の心情がより一層高まった。

ビオラ 69	スーパーサルビア 2	ラベンダーセンティヴィア 5
スミレヴィーノ 3	イベリクスノーサーファー 3	ボンザマーガレット 12
アリッサムノースフェイス 16	パンジー 6	チューリップ 19
菜の花（種） 3	ネモフィラ（種） 2	



11 団の活動状況（最近1年間の活動）	(4) 活動状況総括表 <table><tr><th colspan="4">種 類 別 活 動 回 数</th><th colspan="5">四 半 期 活 動 回 数</th><th colspan="2">団 員 の 参 加 状 況</th></tr><tr><th rowspan="3">学 習</th><th rowspan="3">地 域 貢 献</th><th rowspan="3">レ ク リ エ シ ョ ン</th><th rowspan="3">計</th><th>I</th><th>II</th><th>III</th><th>IV</th><th rowspan="3">計</th><th rowspan="3">一 回 参 加 数 の 平 均</th><th rowspan="3">一 回 参 加 率 の 平 均</th></tr><tr><th>4月</th><th>7月</th><th>10月</th><th>1月</th></tr><tr><th>5月</th><th>8月</th><th>11月</th><th>2月</th></tr><tr><td>5回</td><td>0回</td><td>0回</td><td>5回</td><td>3回</td><td>0回</td><td>2回</td><td>0回</td><td>5回</td><td>56人</td><td>24%</td></tr></table> 記載上の注意 ① 団員の平均1回参加数 各種類別参加者数の合計を活動回数の合計で除したもの。 この参加者は団員に限り育成会員などは含まないこと。 ② 団員の平均1回参加率 団員の平均1回参加数を団員数で除したもの。 団員数が1年間で著しく変動したときは平均的団員数で除すること。	種 類 別 活 動 回 数				四 半 期 活 動 回 数					団 員 の 参 加 状 況		学 習	地 域 貢 献	レ ク リ エ シ ョ ン	計	I	II	III	IV	計	一 回 参 加 数 の 平 均	一 回 参 加 率 の 平 均	4月	7月	10月	1月	5月	8月	11月	2月	5回	0回	0回	5回	3回	0回	2回	0回	5回	56人	24%
種 類 別 活 動 回 数				四 半 期 活 動 回 数					団 員 の 参 加 状 況																																	
学 習	地 域 貢 献	レ ク リ エ シ ョ ン	計	I	II	III	IV	計	一 回 参 加 数 の 平 均	一 回 参 加 率 の 平 均																																
				4月	7月	10月	1月																																			
				5月	8月	11月	2月																																			
5回	0回	0回	5回	3回	0回	2回	0回	5回	56人	24%																																
12 地域社会における貢献度（含む地域の評価）	学校林活動に関しては、自然の循環を学習した上で定期的の下草刈り等の林の手入れを行い、秋には植苗を行うことで、生徒にとって貴重な学びの場になっているとともに、眼下に位置するつつじが崎霊園を訪れる人々の目に触れる度に、苗の生長状況を楽しみに見ていただくことで癒やしにつながっている。 また、校内の緑化活動については、年間数百苗を植え、手をかけて育てることで、来校者からも高い評価をいただいている。																																									
13 将来のビジョン等（含む拡充計画）	学校林を所有している学校が現在甲府市内でも2校しか残っていない中で、愛宕山中腹という地域の徒歩圏内に広大な学校林を所有していることの幸せを感じながら、ともすると自然に触れる機会の少ない現代中学生が、実際に生の自然に触れ、その脅威・素晴らしさを体感することのできる、60年以上本校に継続している本自然体験学習を今後も大切にしていきたい。冬から春の時期にかけて林内に大量に生い茂る下草を刈る作業については、物理的に生徒だけでは処理しきれず、教職員による事前の下準備にも相当の負担感があるので、今後の本活動に対しては、学校運営協議会を通して地域の方々にも参加の協力を呼びかけることで、地域を巻き込んだ活動・学習に発展させていきたいと考える。																																									



南部中学校 緑の少年隊 【峡南地区】

■ 隊の概要

○所在地：南部町立南部中学校 南巨摩郡南部町南部 8 7 4 6 番地

○結成日：平成 5 年 3 月 1 日

○隊員数：1 3 3 名

○主な活動場所：学校内、南部町内(史跡、文化財施設など)



「標準地図（国土地理院）」を加工して作成



令和6年度 緑の活動調書

(都道府県名 : 山梨県)

1	フリガナ 団の名称	ナンブ チュウガッコウ 南部中学校 緑の少年隊																		
2	所在地	〒 409-2212 TEL 0556-64-2119 山梨県南巨摩郡南部町南部 8 7 4 6																		
3	フリガナ 代表者名	アキヤマ 辰仁	4 結成年月日	平成 5 年 3 月 1 日																
5	団員数	男 7 0 名、女 6 3 名	6 年 令	1 2 才～1 5 才 平均 1 3 才																
7	組織の単位	学校単位	8 育成会	有： 無																
9	最近1年間の 会費等	(a) 団員1人当り年会費 0 円 (b) 助成金等 1 2 0, 0 0 0 円																		
10	団の活動 目 的	富士川流域の環境美化活動や校地内の清掃活動の実施、および、園芸活動を通して環境緑化への理解を深める。																		
11	団の活動状 況 (最近1 年間の活 動)	(1) 学習活動 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>開 催 日</th> <th>参 加 者 数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①授業での野外観察</td> <td>4月～6月</td> <td>41名</td> <td>1年生</td> </tr> <tr> <td>②ふるさと探訪</td> <td>4月</td> <td>41名</td> <td>1年生</td> </tr> <tr> <td>③吟行</td> <td>6月</td> <td>41名</td> <td>1年生</td> </tr> </tbody> </table> ①授業での野外観察 1年生の理科では、校舎周辺の植物の観察を行い、南部町に生育する植物について学習します。普段見かける植物も知らないものも多く、その特徴や性質を学習することで、植物への愛情を育むことができます。    ②ふるさと探訪 1年生の校外学習では、町内の歴史、史跡、文化財、自然の様子を観察・学習する校外学習を行います。自然の学習では、町内の有名な桜や銀杏の木を観察したり、専門家から説明を受けます。   			種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考	①授業での野外観察	4月～6月	41名	1年生	②ふるさと探訪	4月	41名	1年生	③吟行	6月	41名	1年生
種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考																	
①授業での野外観察	4月～6月	41名	1年生																	
②ふるさと探訪	4月	41名	1年生																	
③吟行	6月	41名	1年生																	

11 団の活動状況（最近1年間の活動）

③吟 行

俳句をつくるために、名所に出かけることを「吟行」といいます。南部町の花は「あじさい」です。内船公園には毎年見事なあじさいが咲き誇ります。毎年1年生が6月に内船公園に出かけ、俳句づくりをします。ふるさと南部の自然の美しさを感じるひとときです。



(2) 地域貢献活動

種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考
①学校内での花作り	通年	15名	園芸委員会
②緑のカーテンづくり	6月～9月	15名	園芸委員会
③親子奉仕作業	8月	41名	1年生と保護者
④地域清掃	10月	133名	全校生徒
⑤富士川クリーン活動	11月	133名	全校生徒

①学校内での花作り

学校内では、園芸委員会が中心になり、プランターや花壇に季節の花を育てています。写真は、最初の土作りをしているところです。その他パンジー、ビオラ、ナデシコ、百日草、除虫菊、マリーゴールドなど様々な季節の花は苗を買ってきてプランターや花壇に植え付けます。



②緑のカーテンづくり

学校に緑を増やす目的と、同時にエアコン使用のための電力を節約するために、「みどりのカーテン」づくりに取り組んでいます。場所は、職員室、校長室、図書室、ランチルームなどの南側です。カーテンとして植える植物は、ゴーヤや朝顔です。



11 団の活動状況（最近1年間の活動）

③親子奉仕作業

夏休みの後半の一日，午前中2時間程度，保護者と協力して，校舎内外の美化活動に取り組みます。校庭の草取り，周辺の草刈り，高窓の掃除，玄関の清掃などです。校舎や学校周辺が見違えるほどきれいになります。



④地域清掃

徒歩通学の生徒は，登校途中にゴミを拾いながら登校します。放課後は，部活動ごとにゴミ拾いを行います。学校やアルカディアスポーツ公園などの周辺に落ちているゴミを拾い，学校で分別処理します。



⑤富士川クリーン活動

峡南地域全体の取組でもある富士川クリーン活動に参加します。富士川流域のゴミ拾いですが，南部中学校では各地域ごとに地域の人たちと活動します。たくさんのゴミを拾うことができました。



11 団の活動状況（最近1年間の活動）	(4) 活動状況総括表										
	種 類 別 活 動 回 数				四 半 期 活 動 回 数					団 員 の 参 加 状 況	
	学 習	地 域 貢 献	レ ク リ エ シ ョ ン	計	I	II	III	IV	計	一 回 参 加 数 の 平 均	一 回 参 加 率 の 平 均
					4月	7月	10月	1月			
5月					8月	11月	2月				
6回	9回	0回	15回	6回	7回	2回	0回	15回	50人	38%	
記載上の注意											
① 団員の平均1回参加数 各種別参加者数の合計を活動回数の合計で除したもの。 この参加者は団員に限り育成会員などは含まないこと。											
② 団員の平均1回参加率 団員の平均1回参加数を団員数で除したもの。 団員数が1年間で著しく変動したときは平均的団員数で除すること。											
12 地域社会における貢献度（含む地域の評価）	主に校内での活動ではあったが、学校を訪れる人の目を楽しませることができた。また、地域清掃では学校周辺の美化に努めることができ、地域の人からも評価をいただいた。富士川クリーン活動では、親子での活動でもあったので、親子の交流もできた。										
13 将来のビジョン等（含む拡充計画）	令和6年度と同様に活動を継続させていく予定である。特に、地域清掃や富士川クリーン活動を通して地域の人たちにも活動の内容をアピールしていこうと思う。さらに、緑のカーテンなどSDG'sの観点からも地球環境の改善に少しではあるが貢献していきたい。										



都留文科大学附属小学校 緑の少年少女隊 【富士・東部地区】

■ 隊の概要

○所在地：都留市立都留文科大学附属小学校 都留市大野 3 9 6

○結成日：平成 4 年 4 月 1 日

○隊員数：31 名

○主な活動場所：学校内、学校林(都留市大野地内)



「標準地図（国土地理院）」を加工して作成



令和 6 年度 緑 の 活 動 調 査

(都道府県名 : 山梨県)

1	フリガナ 団の名称	ツル プンカ ダイガク フソク ショウガッコウ ミドリ ショウネン ショウジョ タイ 都留文科大学附属小学校緑の少年少女隊																						
2	所在地	〒 402-0023 TEL 0554 (43) 2336 山梨県都留市大野 3 9 6																						
3	フリガナ 代表者名	フジモト ヒロコ 藤本 裕子	4 結成年月日	平成4年 4月 1日																				
5	団員数	男 12名, 女 19名	6 年 令	6才～ 12才 平均 9才																				
7	組織の単位	学校単位	8 育 成 会	有: 人 (無)																				
9	最近1年間の 会費等	(a) 団員1人当り年会費 円 (b) 助成金等 70,000円																						
10	団の活動 目 的	学校林や学校周辺の自然の中における体験活動や観察を通して、地域の自然に対する愛着を培い、自然を大切にしようとする意識や行動力を育てる。																						
11	団の活動状況 (最近1年間の活動)	(1) 学習活動 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>開 催 日</th> <th>参 加 者 数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①各学年の森林体験</td> <td>10月～11月</td> <td>全校児童 31名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②椎茸栽培</td> <td>4月 11月</td> <td>5. 6年 13名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③シクラメンの栽培</td> <td>11月</td> <td>全校児童 31名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④花植え</td> <td>6月 11月</td> <td>全校児童 31名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ①: 各学年の森林体験 各学年で、学区内にある学校林や近くの森、校舎横のふれあいの森林体験をおこなった。1年生は学校林、2年生はふれあいの森で県ネイチャー協会の方を講師に招き、フィールドビンゴをおこなった。3年生は部会行事として保護者も参加し、都留文科大学の教授を講師に招き、森に親しむ活動をおこなった。4年生も都留文科大学の教授を講師に招き、学校前の森に行き動物観察をおこなった。落ちている木の実からどんな生き物がここでエサを食べているか考えたり、樹木や昆虫について学んだりした。学校林で林業体験として、森林組合の方を講師に招き、5年生は間伐体験や6年生は卒業記念植樹やその周辺の下草刈りをおこなった。各学年、森林活動を通して自然に親しみ、身近な動植物や地域の森林の特性などについて学ぶことができた。  1年 フィールドビンゴ  2年 ネイチャーゲーム  3年 親子森林活動  4年 動物観察  5年 間伐体験  6年 卒業記念植樹			種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考	①各学年の森林体験	10月～11月	全校児童 31名		②椎茸栽培	4月 11月	5. 6年 13名		③シクラメンの栽培	11月	全校児童 31名		④花植え	6月 11月	全校児童 31名	
種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考																					
①各学年の森林体験	10月～11月	全校児童 31名																						
②椎茸栽培	4月 11月	5. 6年 13名																						
③シクラメンの栽培	11月	全校児童 31名																						
④花植え	6月 11月	全校児童 31名																						

11 団の活動状況 (最近1年間の活動)

②: 椎茸栽培

5年生で間伐材を用いて椎茸の植菌をおこない、6年生で椎茸の収穫をおこなった。木材の再利用や森のめぐみについて学んだ。



③: シクラメンの栽培

毎年、全校でシクラメンの栽培をしている。緑の少年少女隊の助成金を使って、一人一鉢のシクラメンを各自学校で世話をする。3学期には、それらを各家庭に持ち帰り、大切に育てている。



④: 花植え

6月に全校児童で花植えをおこなった。高学年と低学年がペアとなり1鉢ずつ、花の苗を植えた。その後、学年で水やりをおこなって大切に育てることができた。

11月には、地域の方々を講師に招き、地域の方に教えていただきながら花植えをおこなった。



6月 全校花植え



11月 地域の方々と花植え

(2) 地域貢献活動

種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考
①親子クリーンアクション	5月	全校児童 31名	
②花の種配布	10月	1. 2年 9名	
③花の苗配布	11月	1. 2年 9名	

①: 親子クリーンアクション

5月におこなわれた引き渡し訓練の後、保護者とともに下校して自分の住んでいる地域で親子クリーンアクションをおこなった。自分の住む地域をきれいにする活動を通して、自然保護にも関心を持つ機会となった。

11 団の活動状況
(最近1年間の活動)

②：花の種配布

1年生が世話をして育てたアサガオの種を収穫し、昔の遊びを教えてもらいお世話になった地域の方々にお礼として渡した。



③：花の苗配布

11月に花の苗植えを地域の方々を招いておこなった。その花の苗を5月に校外学習でお世話になった地域の方々にお礼として渡した。

(3) レクリエーション活動

種 別	開 催 日	参 加 者 数	備 考
①バードコールづくり	5月	1. 2年 9名	
②カボチャの調理	10月	4年生 3名	

①：バードコールづくり

1. 2年生が小枝を用いて、バードコールづくりをおこなった。児童は、思い思いに色を塗り、模様を描いたりして仕上げていた。



②：かぼちゃの調理

栄養教諭を講師として、4年生が学校の畑で育て収穫したかぼちゃを使って「かぼちゃとツナのサラダ」「かぼちゃのマグカップケーキ」「かぼちゃのアイスクレーキ」をそれぞれが分担して調理した。自分たちで苗を植え、世話をし収穫したかぼちゃを美味しく味わっていた。



11 団の活動状況（最近1年間の活動）

(4) 活動状況総括表

種 類 別 活 動 回 数				四 半 期 活 動 回 数					団 員 の 参 加 状 況	
学 習	地 域 貢 献	レ ー ク リ エ ン	計	I 4月 ～ 6月	II 7月 ～ 9月	III 10月 ～ 12月	IV 1月 ～ 3月	計	一 回 参 加 数 団 員 の 平 均	一 回 参 加 率 団 員 の 平 均
4回	3回	2回	9回	2回	0回	7回	0回	9回	18人	58%

記載上の注意

① 団員の平均1回参加数

各種別参加者数の合計を活動回数の合計で除したもの。
この参加者は団員に限り育成会員などは含まないこと。

② 団員の平均1回参加率

団員の平均1回参加数を団員数で除したもの。
団員数が1年間で著しく変動したときは平均的団員数で除すること。

12 地域社会における貢献度（含む地域の評価）

学校林やさまざまな森林活動に、森林組合や都留文科大学の教授など外部の方々に講師をお願いしている。それらの活動を通して、地域の人たちとの交流を深めるとともに地域の自然を知り、自然を育む気持ちを育てている。また、地域の方に学校行事に関わっていただき、その感謝の気持ちをこめて自分たちが育てたり、世話をしたりした花の苗や種を渡している。

13 将来のビジョン等（含む拡充計画）

小学校の教育課程の各領域で自然に関わる学習内容をおこなっている。本校は学校林や、校舎のすぐ横にふれあいの森もあり、自然がいっぱいの恵まれた環境である。様々な学習活動や体験活動を通して、児童自らが課題を持って問題を解決する力を育て、今後の生活に結びつけていくようにする。そして、地域の自然に対する愛着を培い、自然を大切にしようとする意識や行動力を育てていきたい。



お問い合わせ先

■緑の少年隊山梨県連盟事務局

〒400-0031 甲府市丸の内 1 - 5 - 4 恩賜林記念館内

TEL : 0 5 5 - 2 2 6 - 6 2 7 9 FAX : 0 5 5 - 2 2 6 - 6 2 9 1

担当：依田・高橋

